

スカパーJSATグループ 2015年度 3Q決算説明会

2016年2月4日(木)

株式会社スカパーJSATホールディングス

将来の見通しに関する記述について

本説明資料に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、現在入手可能な情報にもとづく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。このようなリスクや不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものには、以下のようなものが含まれます。

なお、リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんのでご留意下さい。

《経営全般に関するリスク》

- 当社グループの事業に係わる法的規制等による事業の制約のリスク
- 顧客情報のセキュリティ及び顧客情報管理システムの障害に関するリスク
- 大規模災害による重大設備障害に関するリスク

《衛星インフラに関するリスク》

- 通信衛星の機能不全や運用能力低下に関するリスク
- 通信衛星調達に関するリスク
- 衛星への保険付保に関するリスク

《有料多チャンネル放送プラットフォームサービスに関するリスク》

- 加入者獲得、維持に関するリスク
- 放送事業者に関するリスク
- ICカードのセキュリティ等に関するリスク

第3四半期連結決算概要

損益概要

- 営業収益は宇宙・衛星事業売上の増加により前年同期比増
- 営業利益は有料多チャンネル事業のコスト効率化により増益
- 四半期純利益は法人税等調整額の影響があった前年度と比較して減益

(単位: 百万円)

	FY2014 3Q累計	FY2015 3Q累計	増減率	通期予想 進捗率	FY2015 通期予想
営業収益	122,568	123,466	0.7%	73.5%	168,000
営業利益	17,592	18,560	5.5%	80.7%	23,000
経常利益	17,581	18,554	5.5%	82.5%	22,500
親会社株主に帰属 する四半期純利益	12,936	12,134	△6.2%	83.7%	14,500
EBITDA ^{*1}	35,780	34,863	△2.6%	—	—

*1. EBITDA = 当期純利益 + 税金費用 + 支払利息 + 減価償却費

連結業績の推移(FY2014 1Q ~ FY2015 3Q)

(単位:百万円)

	FY2014				FY2015		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
営業収益	42,239	40,141	40,187	40,725	41,122	40,633	41,710
営業利益	7,015	5,814	4,761	2,034	5,855	5,015	7,689
経常利益	7,067	5,694	4,820	1,999	5,792	5,091	7,670
親会社株主に帰属 する四半期純利益	6,587	3,469	2,880	579	3,788	3,246	5,099
EBITDA ^{*1}	13,698	11,514	10,567	7,843	11,343	10,783	13,142

*1. EBITDA = 当期純利益 + 税金費用 + 支払利息 + 減価償却費

セグメント別連結業績の推移(FY2014 1Q ~ FY2015 3Q)

(単位:百万円)

	FY2014				FY2015		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
営業収益	42,239	40,141	40,187	40,725	41,122	40,633	41,710
有料多チャンネル事業	31,675	30,456	30,338	29,773	30,904	30,636	29,690
宇宙・衛星事業	13,954	12,681	12,824	13,927	13,320	13,098	14,992
消去又は全社	△3,390	△2,996	△2,975	△2,975	△3,102	△3,101	△2,972
営業利益	7,015	5,814	4,761	2,034	5,855	5,015	7,689
有料多チャンネル事業	1,881	1,930	698	△2,076	1,307	772	3,087
宇宙・衛星事業	5,274	4,029	4,258	4,266	4,714	4,407	4,752
消去又は全社	△139	△144	△195	△154	△166	△164	△150

有料多チャンネル事業の主要指標(*)

	FY2014 3Q累計	FY2015 3Q累計	FY2015 通期目標
新規加入件数(万件)	30.5	32.1	48.2
純増数(万件)	△30.2	△3.2	7.5
累計加入件数(万件)	341.5	343.0	353.7
加入者月額支払単価(¥)	3,325	3,356	-
ARPU(¥)	2,223	2,209	-
SAC単価(¥)	37,845	33,411	-

*スカパー！、スカパー！プレミアムサービス、スカパー！プレミアムサービス光の合計値

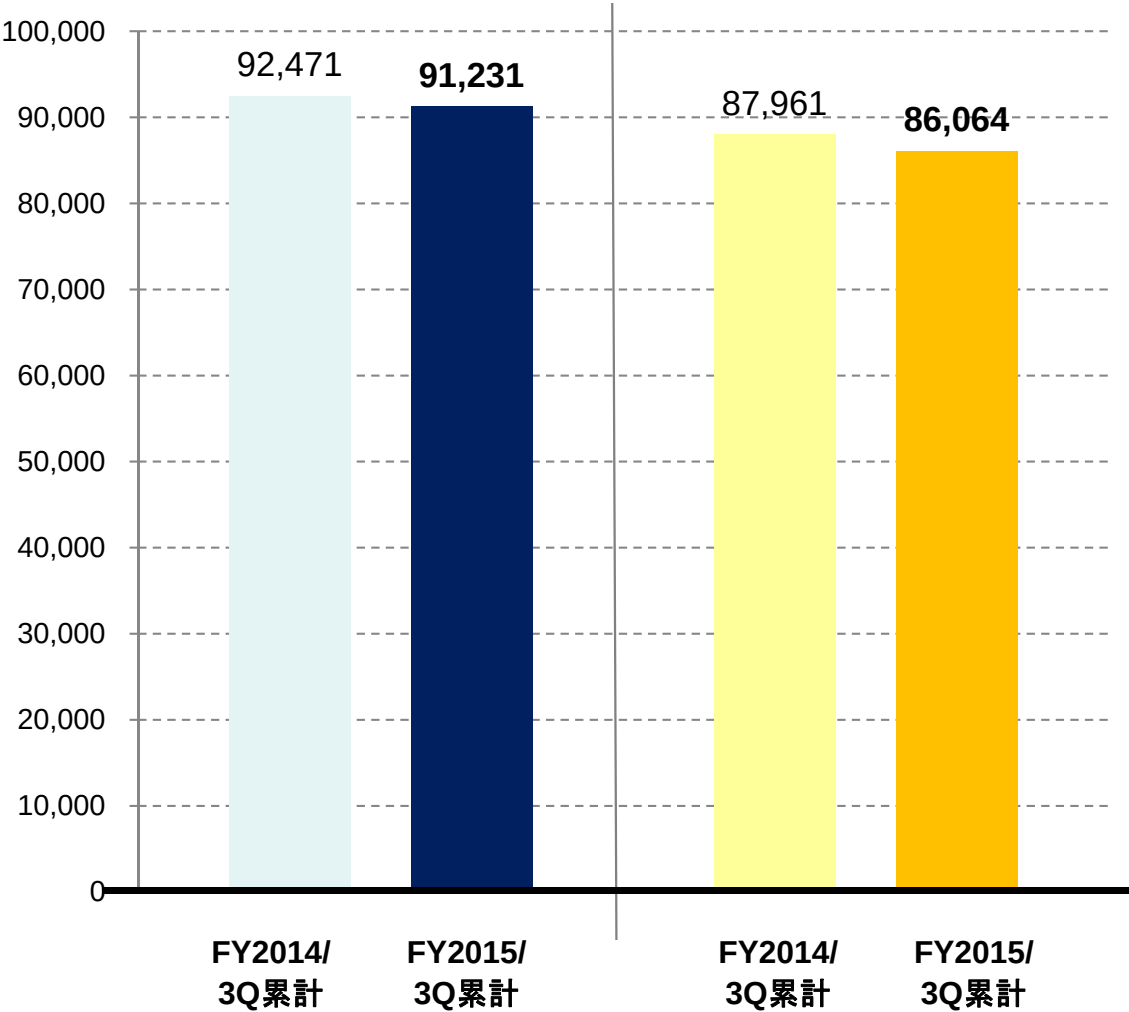
有料多チャンネル事業の業績概況：前年同期比

有料多チャンネル事業

(単位：百万円)

営業収益

営業費用



営業収益(▲12.4億円)*

<主な増減要因>

* セグメント間内部取引を含む。

- スカパー！業務手数料収入増加：+8億円
- 標準画質サービス業務手数料収入及び送信料収入減少：▲5億円
- 視聴料収入の減少：▲15億円

営業費用(▲18.9億円)*

<主な増減要因>

* セグメント間内部取引を含む。

- コンテンツ費用の増加：+36億円
- H.264への移行費用の減少：▲6億円
- 番組供給料の減少：▲13億円
- 広告宣伝費の減少：▲13億円
- その他費用の減少：▲23億円

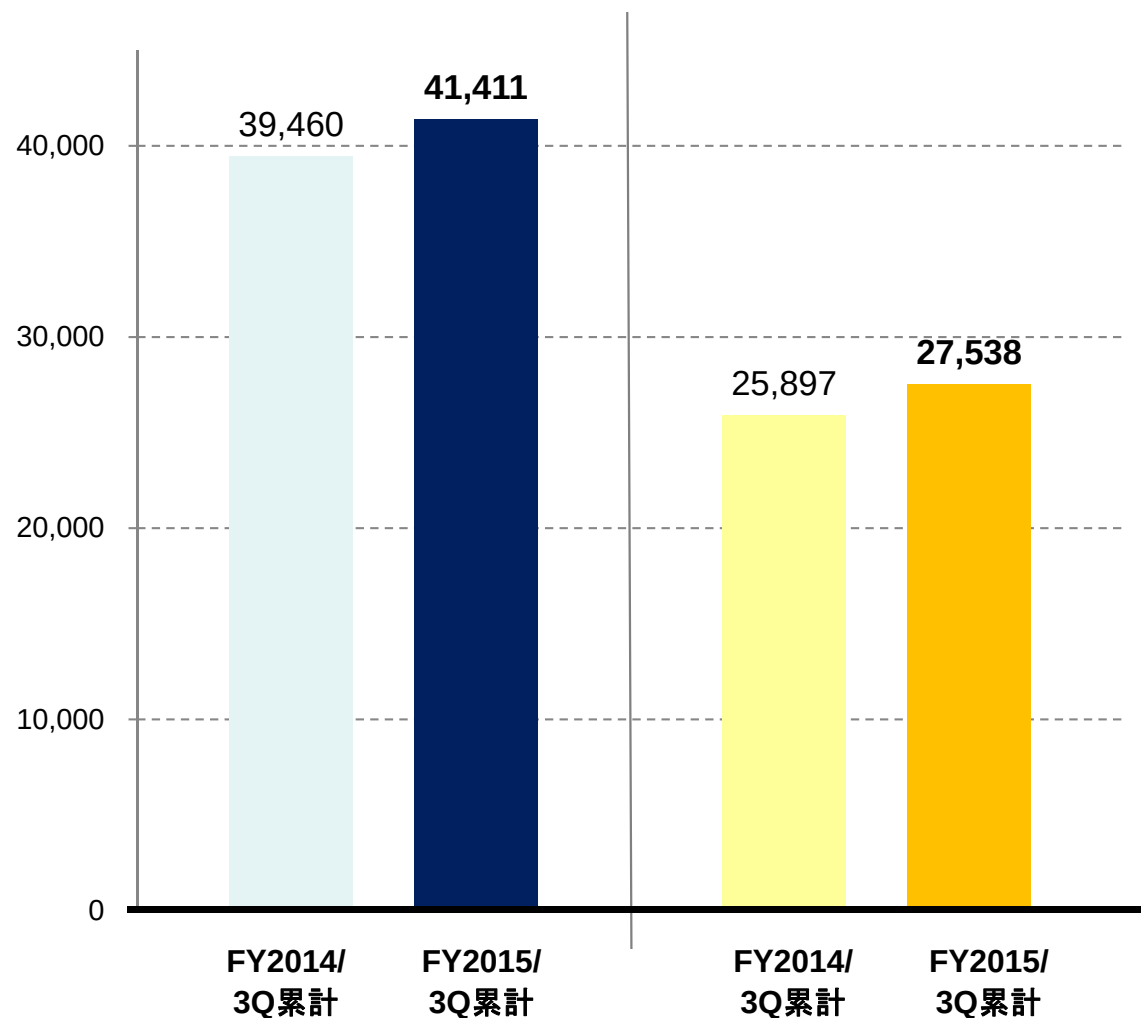
宇宙・衛星事業の業績概況：前年同期比

宇宙・衛星事業

(単位：百万円)

営業収益

営業費用



営業収益(+19.5億円)*

<主な増減要因>

* セグメント間内部取引を含む。

- 標準画質向け放送トランスポンダ収入の減少：▲14億円
- 放送トランスポンダ収入の増加：+4億円
- 船舶向けインターネットサービス収入の増加：+7億円
- 災害対策用ネットワーク管制局設備の販売による増加：+20億円

営業費用(+16.4億円)*

<主な増減要因>

* セグメント間内部取引を含む。

- 減価償却費の減少：▲10億円
- 衛星事業原価等の増加：+26億円

今後の取り組み
～有料多チャンネル事業～

契約者総数拡大戦略

コンテンツと加入拡大施策の効果により、3Q累計加入件数は前年度を上回る実績

■ 生中継や独自コンテンツによる加入拡大

■ 新規加入者拡大施策

✓10日間無料放送／正月三が日300番組無料放送

■ 新規・再加入件数

✓3Q累計の新規・再加入および累計加入件数は前年度を上回る



©2015時代劇専門チャンネル／スカパー！／松竹



	新規・再加入件数		累計加入件数	
	3Q累計	前年同期比	3Q累計	前年同期比
スカパー！	354,063	+26,732	2,134,171	+70,333
プレミアムサービス	44,634	▲748	1,210,015	▲52,160
プレミアムサービス光	6,055	▲857	85,629	▲2,939
3サービス合計	404,752	+25,127	3,429,815	+15,234

今後のコンテンツ

■ スポーツ

- ✓ Jリーグ:ニューイヤーカップ、J1/J2リーグ開幕
- ✓ 欧州サッカー:UEFAチャンピオンズリーグ/UEFAヨーロッパリーグ
決勝ラウンド



- ✓ プロ野球開幕 キャンプ中継、オープン戦、公式戦
★再契約事前受付を開始・・・約3万件



猛虎キャンプリポート2016(スカイ・A sports+)

- ✓ スーパーラグビー

★J SPORTSで「サンウルブズ戦」全試合、
五郎丸選手所属「レッズ戦」全試合などを放送

■ オリジナルドラマ

- ✓ オリジナル連続ドラマ 疫病神シリーズ第2弾「螻蛄」
★第1弾「破門」を地上波放送(MXテレビ、関西テレビ)
- ✓ オリジナル時代劇 第4弾「三屋清左衛門残日録」

4K

4K



©2016 スカパー！



(C) 2016時代劇専門チャンネル/BSフジ/東映

■ 音楽・ドキュメンタリー

- ✓ 史上最強の移動遊園地
DREAMS COME TRUE WONDERLAND 2015
- ✓ 「TOKYO ARCHIVES」 ホテルオークラ本館
★2020に向けて変わりゆく東京を、4Kの解像度で
記録する試み

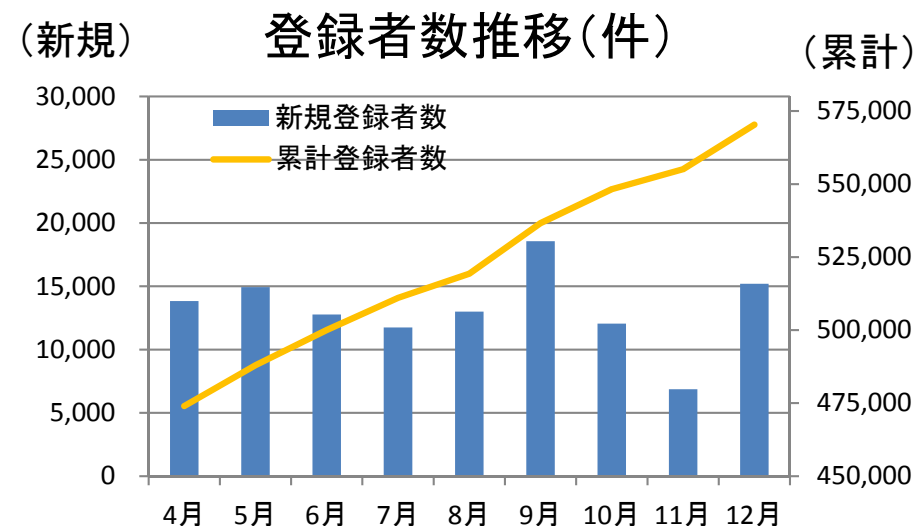
4K



スカパー！オンデマンド

■ スカパー！オンデマンド累計登録者数

✓ 2015年12月末時点 570,330件



■ 今後のサービス戦略

✓ 放送とIPの連携による、新たなサービス展開を図る



WAKUWAKU JAPANの取り組み

■ 新規開局情報

- ✓ シンガポールのケーブルテレビ「StarHubTV」でチャンネル開局(1/15開局)
 - シンガポール有料放送市場シェアNo1。SingtelTV(IPTV)とあわせて約50万世帯が視聴可能に
- ✓ タイの地上波デジタル放送「Ch3SD」で番組放送開始(3/26放送開始予定)
 - 視聴可能世帯約1,500万世帯。毎週末3時間「WAKUWAKU JAPAN HOUR」を放送
- ✓ 展開国／プラットフォーム

<インドネシア>	<ミャンマー>	<シンガポール>	<タイ>
3カ国10プラットフォーム 視聴可能世帯数約350万以上(タイを除く)			

■ 新コンテンツ情報

- ✓ 「The Wonder Japan～Takumi～」(2015/12/7～2016/2/7放送)
 - 日本各地のものづくりやサービスなどの魅力を紹介。グローバル対応ECサイトとの連携により、番組で紹介された名品を購入可能



Yoshinokandoh Woven(Silk) Shoulder bag [Shinagawa Craftsmen Guild]	Meotowan Hisago shape by Junichi Hakose [KANAZAWAYA]	SOLD OUT Shimanto Furu furu set of 2 (Aonori・Umeshiso) 20g×2 [Shimanto Domeki Company]	Wajimanuri Kanshitsu Meotobashi [KANAZAWAYA]
100,000 yen	20,400 yen	1,200 yen	4,800 yen
MEDICOM TOY	MEDICOM TOY	MEDICOM TOY	MEDICOM TOY

4K・8Kロードマップ(衛星放送)

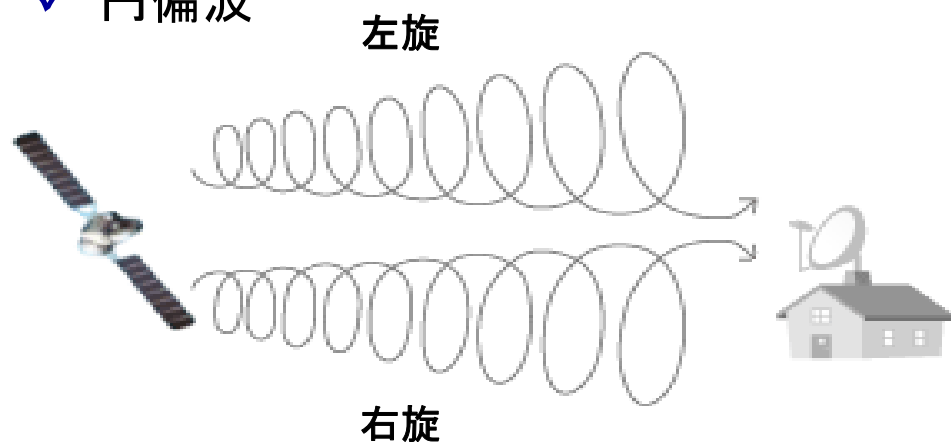
総務省による「4K・8Kロードマップに関するフォローアップ会合第二次中間報告」公表
(2015年7月)

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年 東京オリンピック
110 BS			BS右旋(ch17)で 4K・8K試験放送		BS右旋で 4K実用放送 BS左旋で 4K・8K実用放送		(2020年頃) BS左旋で 4K・8K中継機追加
110 CS			JCSAT-15 打ち上げ	CS左旋で 4K試験放送	CS左旋で 4K実用放送		(2020年頃) CS左旋で 4K中継機追加
124/128CS	4K試験放送	4K実用放送					

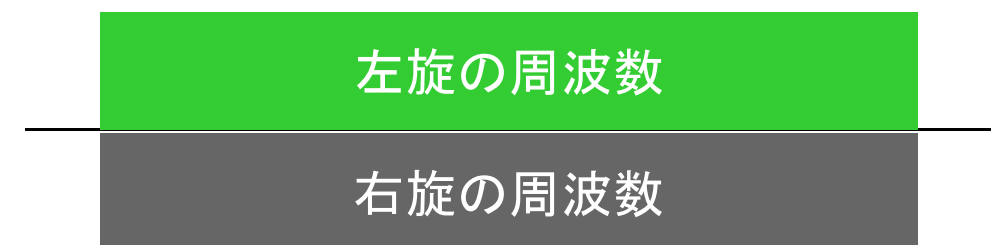
4K・8K衛星放送受信アンテナ

■ 周波数の拡大

✓ 円偏波



将来、4K・8K放送で利用される予定の周波数



現在、BS・110CSで利用されている周波数

■ 対応アンテナ



- ✓ 右左旋偏波対応BS・110CS対応アンテナ、2016年1月下旬より発売（マスプロ）。将来左旋円偏波でも送出される4K放送も受信可能
- ✓ 右左旋偏波対応BS・110CS＋プレミアムサービス（124/128度）受信可能なマルチ衛星アンテナを当社開発中

今後の取り組み
～宇宙・衛星事業～

国内市場への取り組み①

■ JCSAT-17の調達を決定

✓ 衛星バス

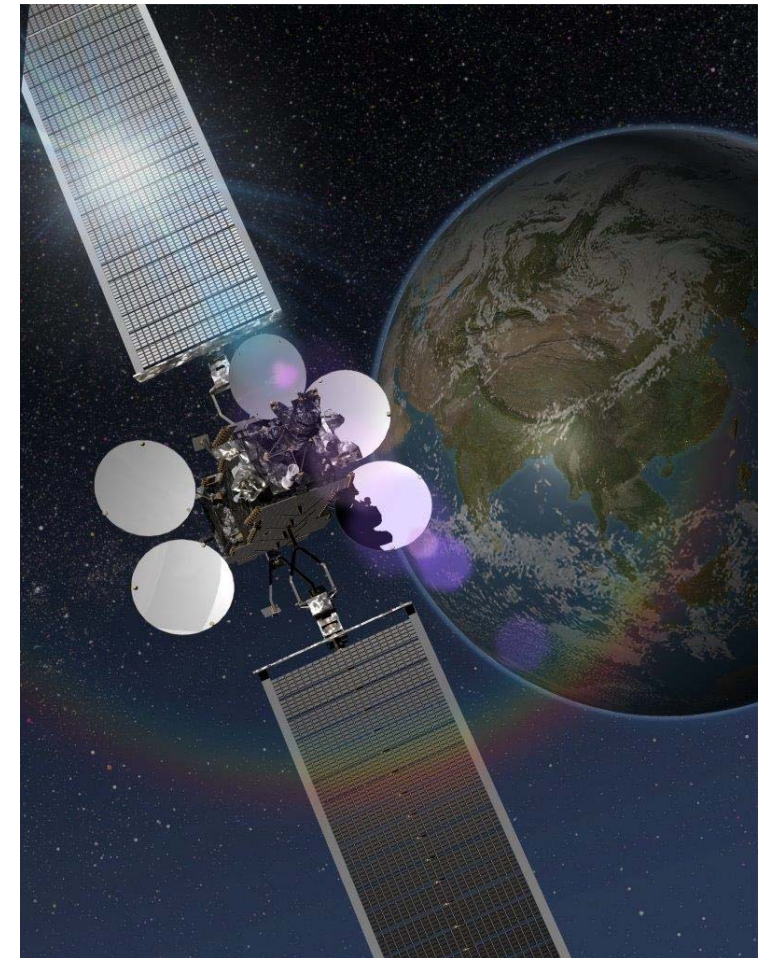
- 衛星バスは、世界の通信衛星会社に対し、40機以上の納入実績を誇るLockheed Martin社製A2100型バスを採用。

✓ 搭載バンド

- JCSAT-17には、Sバンド、Cバンド及びKuバンドの高性能トランスポンダを搭載。

✓ 打上げ

- 打上げ時期は、2019年度下期を予定。
- 打上げロケットは、今後選定予定。



A2100型衛星 イメージ図

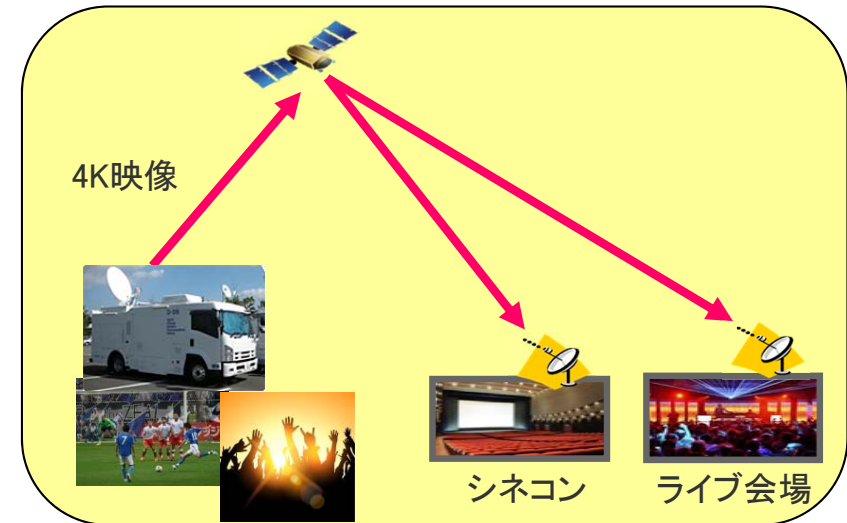
国内市場への取り組み②

■ 4K ODS※の推進

※ Other Digital Stuff : 非映画デジタル素材活用

✓ 4KODS対応受信拠点の拡大

- 全国のデジタル上映設備を備えたシネコンやライブ会場に衛星受信アンテナと4K受信機器を設置することで、衛星を介した4K映像によるODS利用を促進。



✓ 4K映像対応サービスの拡大

- (株)衛星ネットワーク(以下「SNET」)では、全国各地での4K映像制作へ柔軟に対応可能な車載型映像制作システム「4Kista!」を導入し、今後拡大が見込まれる4K ODSを含めた映像コンテンツ中継や映像制作への対応を推進。



4K対応 車載型映像制作システム



SNET提供

グローバル・モバイル市場への取り組み

■ 航空機向け事業

- ✓ 全日本空輸株式会社(以下「ANA」)が、本年1月25日より日本国内線において、当社衛星による下記サービスを開始。

- 国内線機内インターネット「ANA Wi-Fiサービス」。
- 国内線初のライブテレビ視聴サービス「ANA SKY LIVE TV」。

ANA
WiFi
Service

<対象路線・機材>

- 羽田発着の千歳、福岡、沖縄路線を中心にサービスを開始。
- 機内入口に左記ロゴの表示がある機材※で利用可能。

※・2016年1月時点の対象機材は1機(B777-300型機)でのサービスであり今後順次拡大予定。(対象機材:B777・B787・B767・B737・A320)

・Q400型機においてはビデオ番組、オーディオ番組、電子書籍サービスのみの提供となります。

・B737-500型機及びB737-700型機は本サービス対象外の機材となります。

ANA SKY LIVE TV

「スカパー！プレミアムサービス」で放送中の3チャンネルが視聴可能



日テレジータス

「日テレジータス」
日本テレビがお届けする
スポーツ専門チャンネル。
巨人主催試合を完全生中継！
提供：日本テレビ放送網株式会社



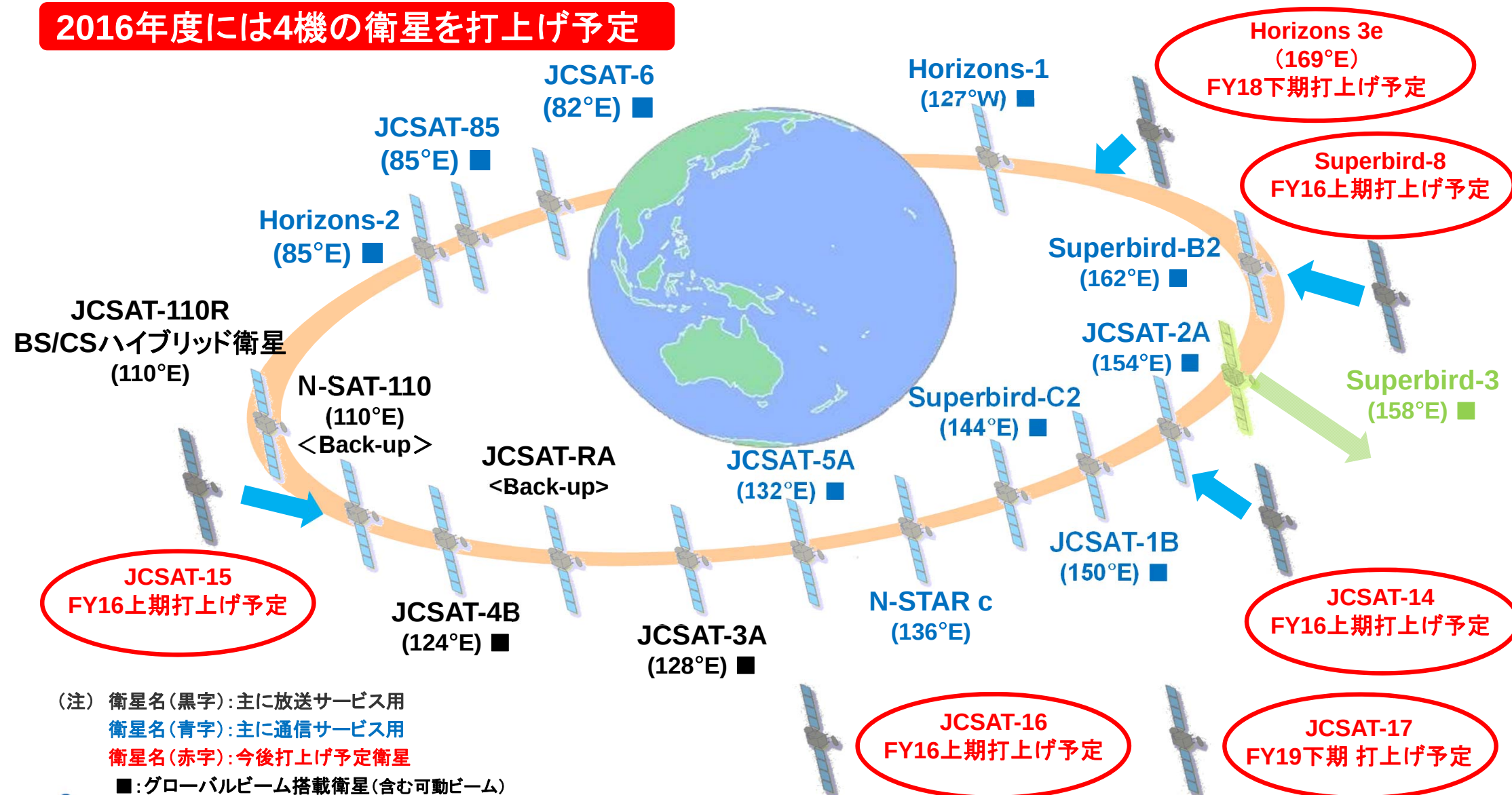
「日テレNEWS24」
日本テレビがお届けする
ニュース専門チャンネル。
提供：日本テレビ放送網株式会社



「スカサカ！」
24時間サッカー専門チャンネル。
提供：当社

北米上空からインド洋上空まで計15機の衛星を保有

2016年度には4機の衛星を打上げ予定



(注) 衛星名(黒字):主に放送サービス用

衛星名(青字):主に通信サービス用

衛星名(赤字):今後打上げ予定衛星

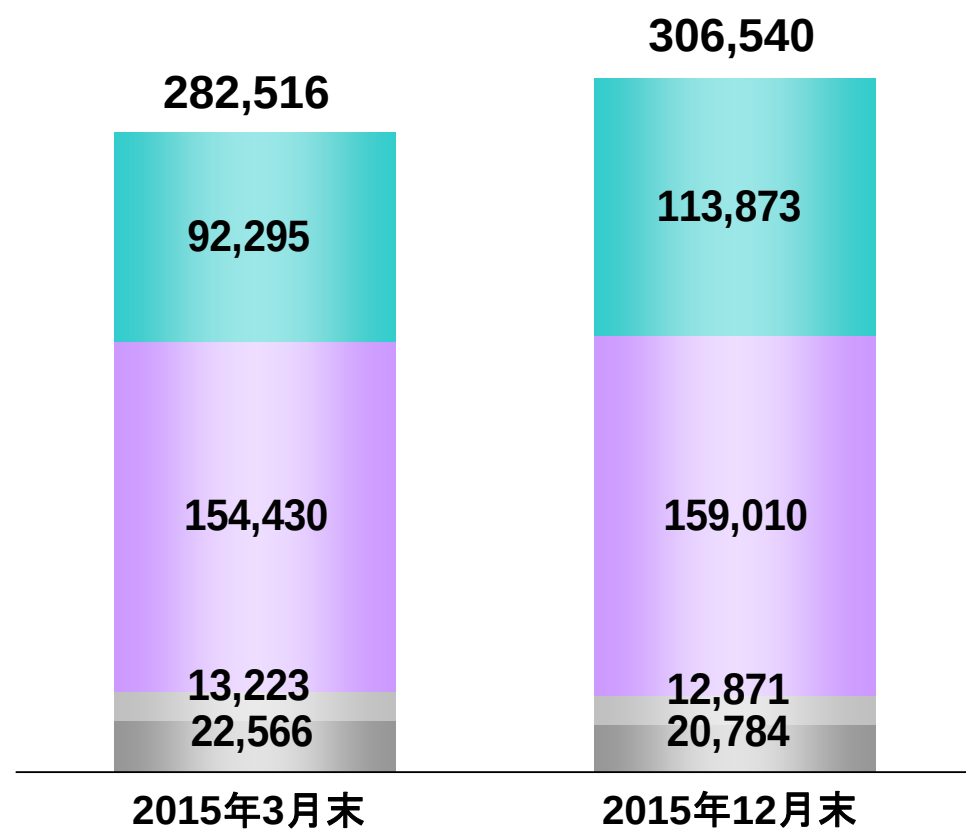
■:グローバルビーム搭載衛星(含む可動ビーム)

(参考資料)

連結貸借対照表

資 産

(単位:百万円)

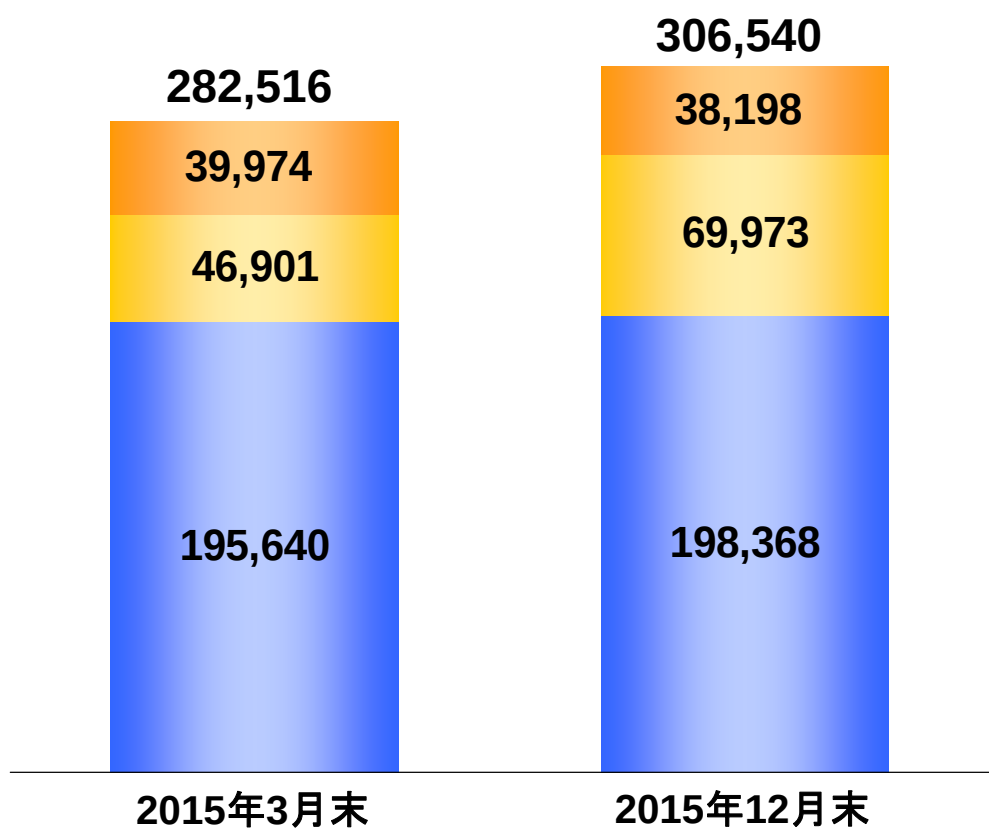


負債・純資産

(単位:百万円)

自己資本比率:69.2%

自己資本比率:63.4%



流動資産 有形固定資産 無形固定資産 投資その他資産 流動負債 固定負債 純資産

連結キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

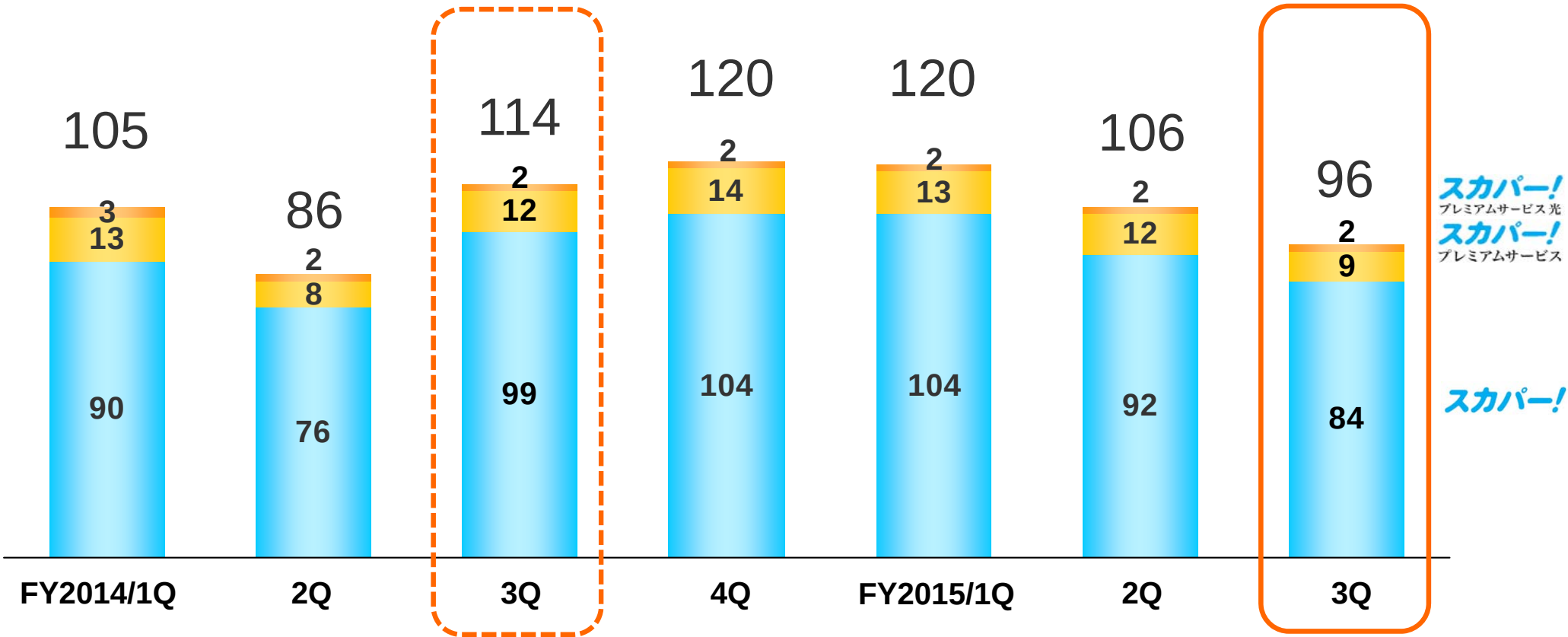
	FY2013/3Q 累計	FY2014/3Q 累計	FY2015/3Q 累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	26,612	15,622	23,346
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,466	△22,293	△20,737
フリー・キャッシュフロー (*1)	15,145	△6,670	2,609
財務活動によるキャッシュ・フロー	△26,017	△16,623	16,194
現金及び現金同等物の期末残高(a)	63,850	40,583	52,740
有利子負債期末残高 (*2) (b)	45,026	33,709	61,721
純有利子負債期末残高 (b)－(a)	△18,824	△6,874	8,981

*1. 営業活動によるキャッシュフロー＋投資活動によるキャッシュフロー

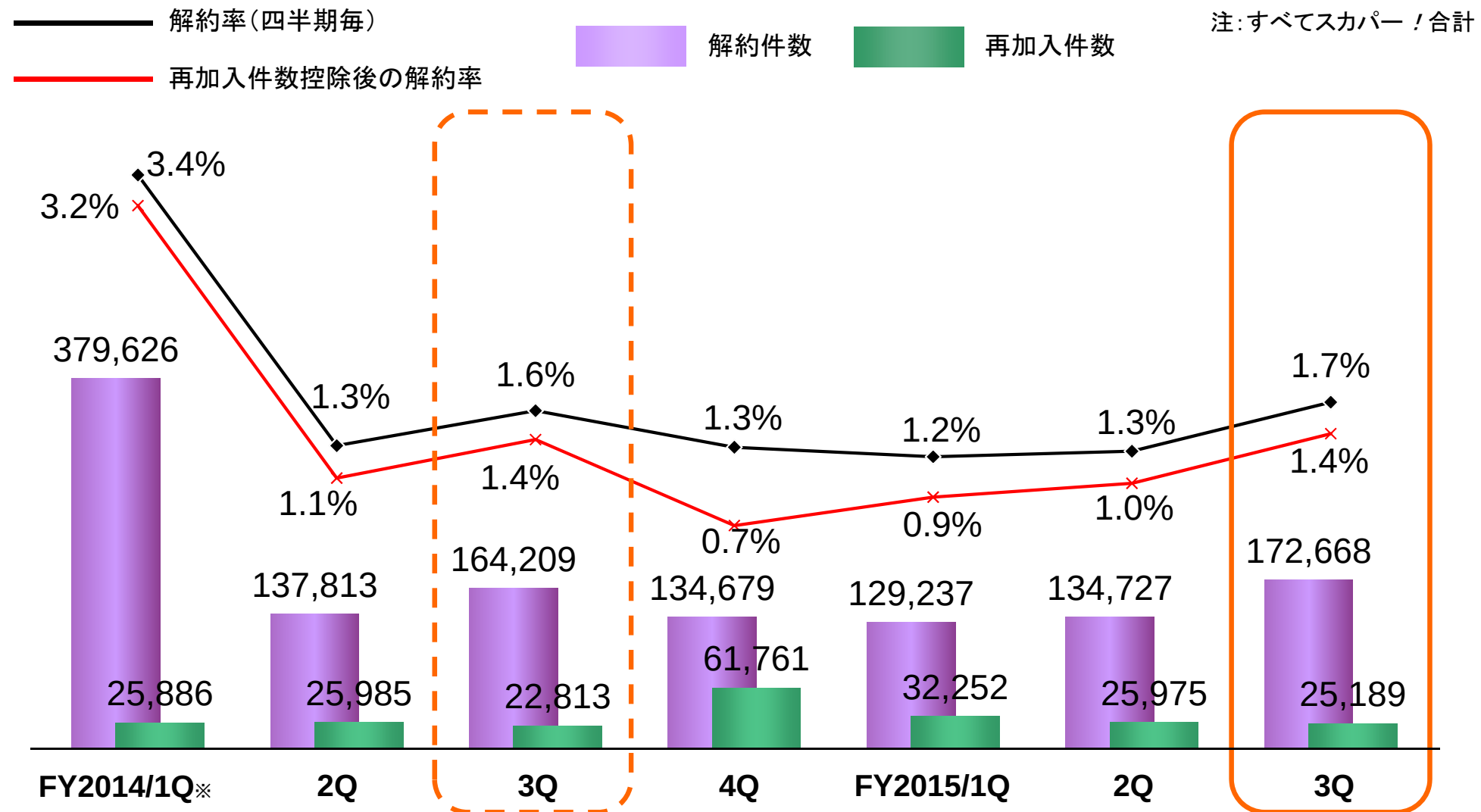
*2. 借入金＋無担保社債

新規加入件数の推移

(単位: 千件)

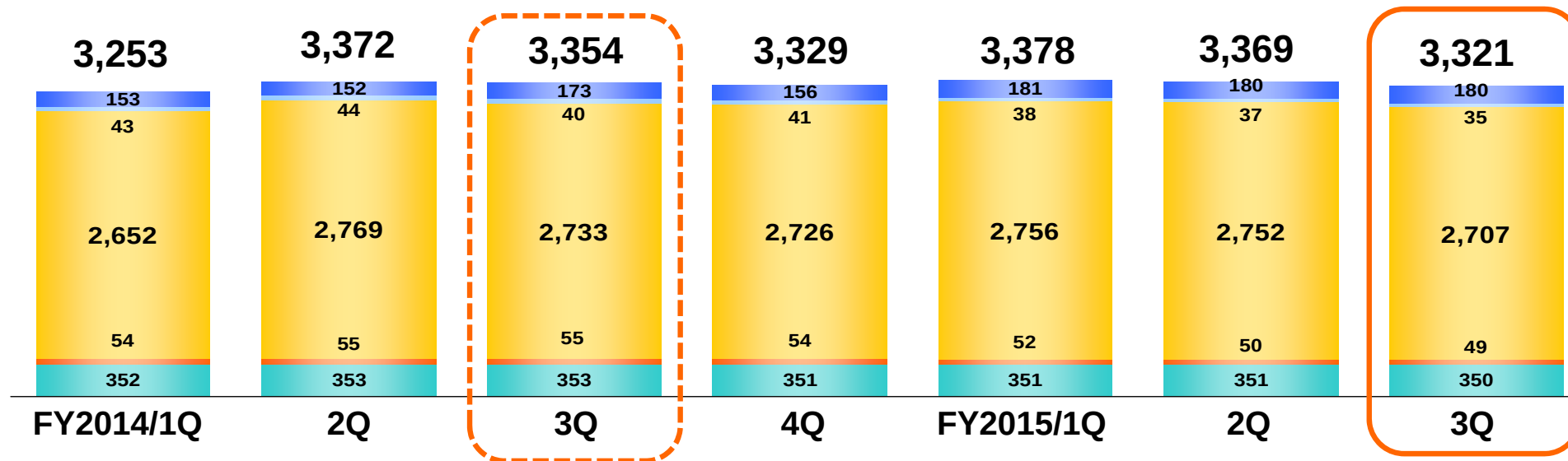


解約率の推移

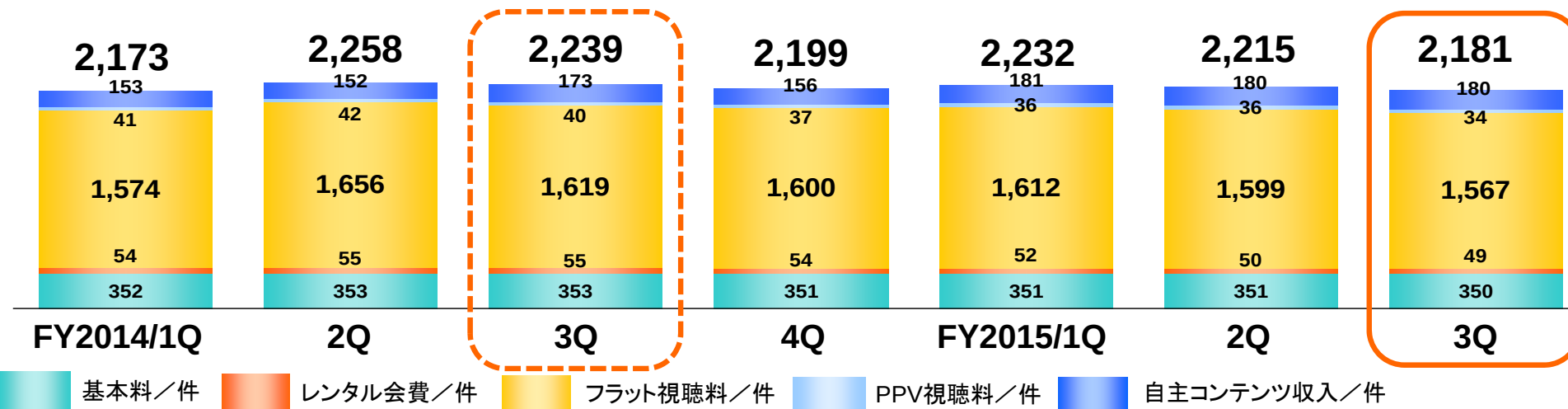


※:FY2014/1Qの解約件数、平均月次解約率、再加入件数除後の解約率が大きい理由は、2014年5月末の標準画質サービス終了に伴う解約を含むためです。

■ 加入者支払単価(¥) (*1)



■ ARPU(¥) (*2)

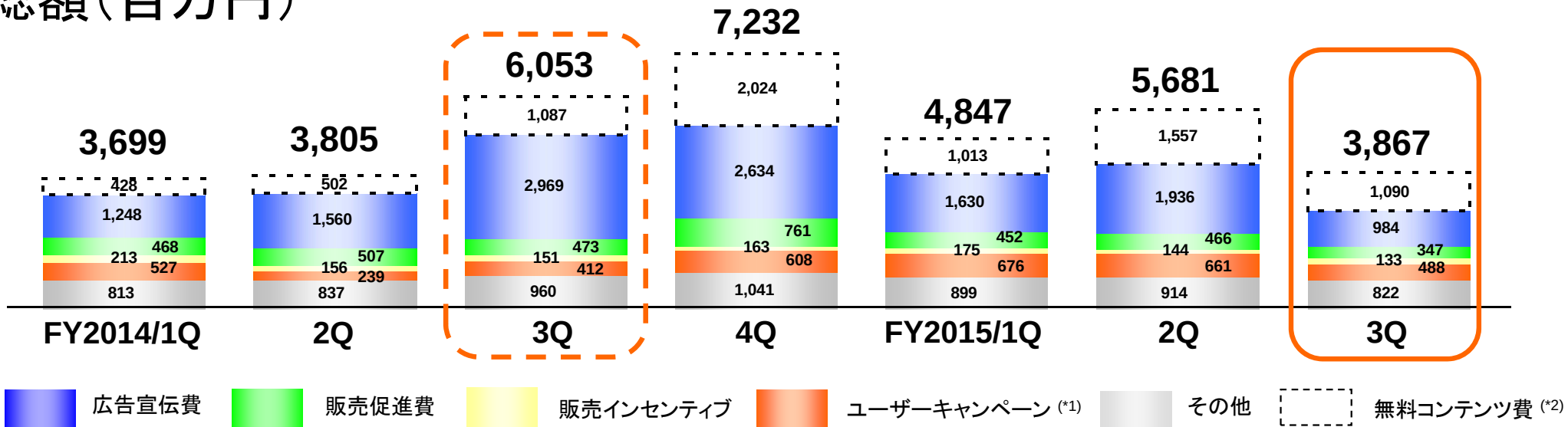


*1. 加入者が支払う月額視聴料等の平均単価

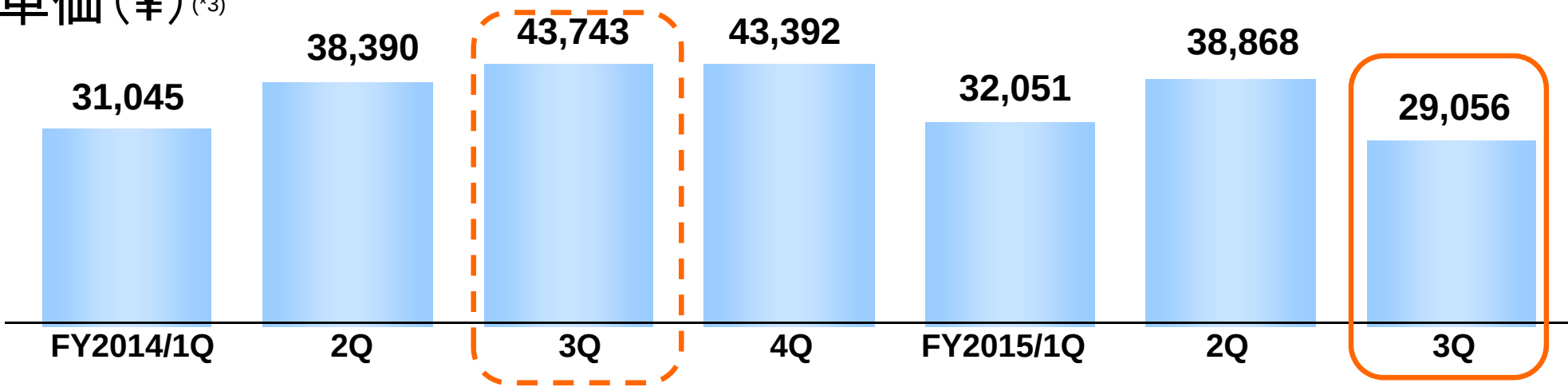
*2. 加入者が支払う月額視聴料等の平均単価の内、当社グループの営業収益として計上する金額

顧客獲得費用(SAC)

■ 総額(百万円)



■ 単価(¥) (*3)



*1. 各種顧客獲得キャンペーンに係る費用
*2. 「無料コンテンツ費」は、BSスカパー！の番組制作費等を含む。
*3. SAC単価は、SAC総額(ただし「無料コンテンツ費」は除く)を対象期間の新規加入件数で割った数値

株式会社スカパーJSATホールディングス
広報・IR部